

おぼえよう!

^こよい子の^{みずべ}水辺の
おやくそく

～「ライフジャケット」は命^{いのち}のおまもり～



楽しく水辺で遊ぶための合言葉、言えるかな？

「かっぱの“お・さ・ら”！」

海や川、湖や池などの水辺では気をつけないとあぶないところがあるよ。

「かっぱの“お・さ・ら”！」の合言葉を覚えよう！！



おとなといっしょに！！

子どもだけで水辺に近づかないこと！水辺では、足をすべらせてころんだり、急に深くなっていたりして、おぼれてしまうことがあります。



サンダルはぬげないものを！！

水辺ではサンダルやぼうしなど、落としてしまったものをひろおうとしたり、流されたものを追いかけてたりして事故につながる場合があります。まずは、ぬげないもの（かかとがとめられる「サンダル」や「くつ」）をはくこと！何かを落としたり、流されたりしたら、近くに



「ライフジャケット」をつけよう！！

水辺では「ライフジャケット」をつけることを忘れずに！事故が起ころうとしても「ライフジャケット」をつけていた人のほとんどが助かっています。準備できる時は必ず、「ライフジャケット」をつけよう！



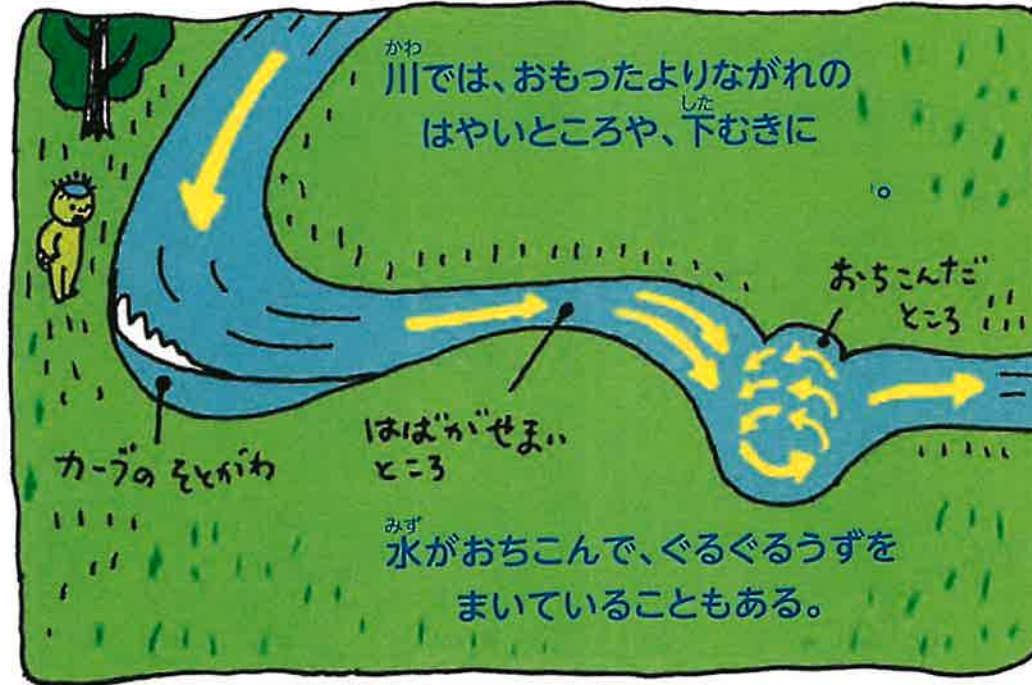
「ライフジャケット」をつけると安心だね



こんなところがあぶない！



海水浴をしているときに、遊んでいた浜辺から、近くの浜辺に泳いでいく途中でおぼれた事故があったよ。みんな「ライフジャケット」をつけていなかったんだって！特に小さな子どもは浮具に乗ったまま風に流されてしまったり、風に流されたものを追いかけておぼれてしまったり、風で流されることもあるから注意が必要だね。



なが
流れてしまったビーチボールやサンダルを取りに行こう
としておぼれた事故や、川で釣りをしているときにつり
糸が切れて、なが
流されたルアーを取りに行っておぼれた
事故があったよ。なが
流されたものが大切なものでも、絶対
に追いかけないで自分の命を守ろうね！

いけ いけ ! 池・ため池



つ 釣りをしているときに水に落ちて、斜面のぬめりで、はいあが
ることができずにおぼれてしまった事故があったよ。その池
には柵がなかったみたい。落ちてしまうと、ぬるぬるしてて
はいあがれないことがあるから、池やため池には近づかない
ようにしてね。

ほかにもこんなキケンが...

うみ かわ いけ
海・川・池



すいちゅう み ふか
水中が見えないから深みにはまっておぼれて
しまった事故があったよ。危ない場所は見た
だけではわからないんだね。水面が太陽の光で
キラキラしていたり、水がにごっていると水中
が見えないから、特に注意が必要だね。

まえ・よこ・おまた
のおやくそく!

「ライフジャケット」のつけ方

うみ かわ いけ 海・川・池それぞれの気を付けるポイントはわかったかな。
かな じ こ 悲しい事故につながらないように遊びに行くときは
「ライフジャケット」を準備しよう!



さいごはおとなに
かくにんしてもらおう!

まえ



まへのチャックをしめる!

よこ



よこのベルトを
しめる!

ゆるみやすいのでしっかりと、
ちょっときついくらいに。

おまた



おまたのベルトを
しめる!



おお
大きすぎる
ものは…



あたまがしずんでしまったり



スポッとぬけてしまうことも。
おまたのひもをわすれずに!

Q. ^{にんげん からだ} 人間の身体はどれくらいう浮くの？ (た——っぷり^{いき す}息を吸った時^{とき})



してる？



A. ^{にんげん からだ いき} 人間の身体は息をた——っぷり^す吸っても※
2%くらいしかう浮きません！

※^{からだ なか くうき}体の中に空気がいっぱいある時^{とき}

^{なが}流れている水や波^{みず なみ}のあるところだと、息^{いき}ができずに、おぼれてしまうことがあります。

そして、ほとんどの人は息をはくとしずんでしまいます。

^{しぜん みずべ}自然の水辺では、プールでバリバリ泳^{およ}げる人でも、オリンピックに出た水泳選手^{で すいえいせんしゅ}でもおぼれてしまうことがあるんです…。

せいかい
**正解は
③!!**

ちょっとしか
うかないんだね。



みずべ　ちか　とき
だから、水辺に近づく時は…

「**かっぱの“お・さ・ら”**！」を大切に！
たいせつ

「**ライフジャケット**」を準備しておこう！！
じゅんび



「ライフジャケット」をつけると
かお　みず　うえ　で
顔が水より上に出ます！

この資料は、絵本「かっぱのふうちゃん　ライフジャケットでスイスイ」（森重裕二・文、市居みか・絵、子どもの未来社刊）をもとにつくりました。

おぼえよう!

よい子の水辺の おやくそく

～「ライフジャケット」は命のおまもり～

楽しく水辺で遊ぶための合言葉、言えるかな?

「かっぱの“お・さ・ら”！」

うみ かや みずうみ いけ
海や川、湖や池などの水辺では気をつけないとあぶないところがあるよ。
「かっぱの“お・さ・ら”！」の合言葉を覚えよう!!



おとなといっしょに!!

子どもだけで水辺に近づかないこと! 水辺では、足をすべらせてころんだり、急に深くなっていたりして、おぼれてしまうことがあります。



サンダルはぬげないものを!!

水辺ではサンダルやぼうしなど、落としてしまったものをひろおうとしたり、流されたものを追いかけてたりして事故につながることもあります。まずは、ぬげないもの(かかとがとめられる「サンダル」や「くつ」)をはくこと! 何かを落としたり、流されたりしたら、近くに



「ライフジャケット」をつけよう!!

水辺では「ライフジャケット」をつけることを忘れずに! 事故が起これば、助けても「ライフジャケット」をつけていた人のほとんどが助かっていません。準備できる時は必ず、「ライフジャケット」をつけよう!



「ライフジャケット」をつけると安心だね

Q. 人間の身体はどれくらい浮くの？（た——っぷり息を吸った時）



人間の身体は息をた——っぷり吸っても
A. 2%くらいしか浮きません！

※ 体の中に空気がいっぱいある時

流れている水や波のあるところだと、息ができずに、おぼれてしまうことがあります。そして、ほとんどの人は息をかくとしくずんでしまいます。自然の水辺では、プールでバリバリ泳げる人でも、オリンピックに出た水泳選手でもおぼれてしまうことがあるんです……。



「ライフジャケット」をつけると
顔が水より上に出ます！

だから、水辺に近づく時は…

「かっぱの“お・さ・ら”！」を大切に！
「ライフジャケット」を準備しておこう！！

～ 大人の方へ ～

子どもたちは思っているより浮きません。なので、一瞬でしずんでしまうことがあるんです。子どもたちがおぼれる時は、音も立てずにしずかにおぼれる…と言われています。見守る時は腕の届く範囲で、そして、必ず「ライフジャケット」を準備してくださいね！大人も「ライフジャケット」をお忘れなく！！



どうが
動画でわかる！／



ライジャケサンの
「水辺の安全教室」



水辺に出かける前に、お子さんと一緒にこちらのWebサイトで学んでください！



子どもたちに
ライフジャケットを！



香川県教育委員会
「学校における水難事故
防止対策強化事業」



公益財団法人
日本ライフセービング協会
「e-Lifesaving」



公益財団法人 河川財団
「水辺の安全ハンドブック」

本資料は、学校や園などでの授業目的での使用に限り、ご自由にお使いいただけます。資料の転載・改変はご遠慮ください。授業以外での使用をご希望の場合は、こちらに事前に連絡をお願いします。▶「子どもたちにライフジャケットを！」 info@lifejacket-santa.com